

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 29 年 12 月 11 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	梅田スカイビルにおける、高層および中層系統送水ポンプの変揚程変流量制御装置（エコノパイロット）導入による排出削減事業
承認番号	JCDM-PJKC1345
排出削減事業者名	積水ハウス梅田オペレーション株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：横河商事株式会社)
事業実施場所	梅田スカイビル 大阪府大阪市北区大淀中 1 丁目 1 番 88 号
事業の概要	既設の送水ポンプ（インバーターによる圧力一定制御）に、変揚程変流量制御装置を追加導入し、部分負荷時の送水ポンプ回転数を下げることで電力使用量を削減することでエネルギー効率の改善を図るものである。
排出削減量の計画	< 限界電源炭素排出係数使用の場合 > 2012 年度 41 tCO ₂ /年 2013~2019 年度 134 tCO ₂ /年 2020 年度 67 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計：1,046 tCO ₂) < 全電源炭素排出係数使用の場合 (参考値) > 2012 年度 34 tCO ₂ /年 2013~2019 年度 134 tCO ₂ /年 2020 年度 67 tCO ₂ /年

	(事業実施期間合計：1,039 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2012年10月1日 終了予定日 2020年9月30日
排出削減方法論	方法論 005：間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御による ポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2017年9月30日（第3回実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	327 tCO ₂ （2015年4月1日～2017年9月30日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、事業実施場所である梅田スカイビルにおいて冷水ポンプ、インバーター、調節計が各タワーに設置されていることを現地にて目視確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における積算電力計及び送水量を含む使用エネルギー集計表等の資料により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問、前回の実績確認報告書などにより確認した。 4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法について、電力使用量の把握が承認排出削減事業計画どおりに実施されていることを確認した。 2) 電力使用量について、エコノパイロットにより取得した計測値が適切に記録され、使用量の把握・管理が確実になされていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。

	4) その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。
算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	算定期間は、2017年9月30日までであり、認証期間の終了日である2020年9月30日を超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし。

6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量については原油換算 158.5kL であることを確認した。